

# ローンベースLGB-09 施工要領書



- ①240～340mm下掘りする。
- ②整地後、クラッシャーラン(砕石材)0～40を投入する。
- ③十分に転圧(2～4 t)整地する。  
※厚み…150～250mm以上
- ④レベル調整材(山砂・真砂土・スクリーニングス)を投入し敷きならす。  
※厚み…5～10mm  
※ローンベースの高さはGLに合わせる。



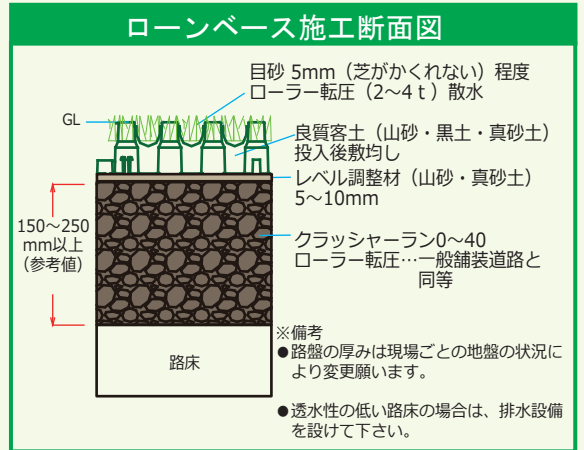
- ⑤ローンベースのタテ・ヨコの1コーナーを決める。
- ⑥接合部分の凸部の上に凹部を重ねて上から押し込むようにして連結させる。
- ⑦一列ごとに前後左右を確認して、ゆがみのないように調整する。
- ⑧曲面・角部分は剪定ばさみ等で、本体がはみだした部分をカットする。



- ⑨ローンマーカ―を設置する場合は、この時点で取付ける。
- ⑩敷設後、客土を投入し敷きならす。
- ⑪竹ぼうきで少し強めにすきとる。  
※このとき、芝生の厚みを考慮してローンベースの先端部が20mm程度露出するようにする。



- ⑫ローンベースの上に芝生を植付ける。
- ⑬散水しながら2～4 tの転圧をかけ、十分整地する。
- ⑭化学肥料等を散布する。
- ⑮芝の目砂をする。  
※芝生が根付くまで養生をする。



## 【施工上の注意】

- 1.透水性の低い路床の場合は、排水設備を設けて下さい。
- 2.砕石路盤の厚さは150～250mm以上にして下さい。
- 3.路盤がしっかり整地されていないと芝生面が陥没する恐れがありますので、十分に転圧して下さい。
- 4.客土投入時、粘土質は固まりやすいので、使用を避けて下さい。
- 5.芝生は大判100%張りにてお願いします。
- 6.転圧が不十分な場合、芝生が落ち込まず生育不良の大きな原因になります。

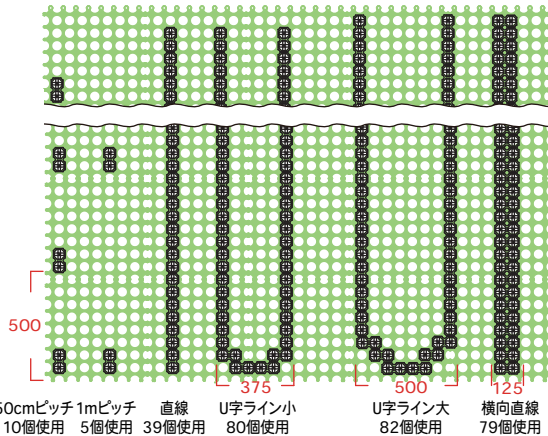
## 【施工後の注意】

- 7.施工後は芝生育成のため、十分な散水・施肥をし管理を行って下さい。
- 8.目砂が不足しますとローンベースの突起が露出してしまい破損する恐れがありますので、補充して管理を行って下さい。

## ローンマーカ― LGM-09 施工レイアウト

### 区画ライン

5m当りの白線マーカ―使用個数(例)



### 身障者マーク

身障者マーク 69個/1台 使用

